

J C H O
二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231
FAX.0243-23-5086
<http://nihonmatsu.jcho.go.jp>
発行者: あゆみ編集委員会

あゆみ

二本松病院地域協議会の開催について

平成26年4月、社会保険二本松病院は国が出資する独立行政法人となり、新たに「地域医療機能推進機構(JCHO・ジェイコー)二本松病院」としてスタートしました。

地域医療機能推進機構は、機構法第3条で「地域において必要とされる医療及び介護を提供する機能を確保し、公衆衛生の向上増進、住民の福祉増進に寄与する。」ことを目的とし、第20条で「協議会等を開催し、広く意見を聞いて参考とし、施設の実情に応じた運営に努める。」こととされています。

この法律の規定に基づき昨年10月に二本松病院地域協議会を設置いたしました。地域協議会の目的は、今後さらに進んでいく高齢化社会において、地域住民の皆様の実情に配慮しつつ地域協議会を通じて当院への様々なご期待・ご要望に応えることが出来る体制の構築と、患者様を中心として医療、介護、福祉等の関係機関との連携を今まで以上に一層深めていくことにより、「地域包括ケアシステムの構築」を目指しております。

地域協議会は、15名の委員で構成され外部委員として、福島県県北保健福祉事務所、二本松市役所、安達地方広域行政組合消防本部、二本松市社会福祉協議会、安達医師会、二本松薬剤師会、二本松市民生児童協議会、二本松市岳下区長のほか、当院の院長、副院長なども加わっています。

さる7月22日に二本松病院会議室において第3回地域協議会を開催し、平成26年度の決算状況、平成

27年度の事業計画について概要説明を行い、地域包括ケア推進室の設置や地域連携室の体制充実、MRIの更新整備など今年度の取り組み状況について報告を行いました。議事の概要は当院ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

これまでの地域協議会では委員の皆様より様々な観点から貴重なご意見が出されています。これからも、この地域協議会を重ねながら当院の総合診療機能を生かした、医療から附属老健、訪問看護等の介護、在宅療養に至るまで、地域で相互に連携できる体制づくりを地域の皆様と一緒に取組んでいきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

総務企画課経営企画 係長

後藤 絹子



未来を見つける職場体験

介護体験

初々しい中学生の訪問で
利用者さんも大喜びでした!!



平成27年7月1日(水)・2日(木)二本松第一中学校2年生4名、7月15日(水)二本松第二中学校3年生4名が職場体験のため附属介護老人保健施設を訪れました。

将来の進路として福祉施設に関心があり、訪問を希望したとの事です。はじめは緊張気味に説明を聞いていましたが、福祉用具の取り扱い方を学んで実際に車いすに乗る体験をするなど、徐々に笑顔が見られ「初めて車いすに乗り、とても緊張しました。」「乗っている方の思いを感じる事が出来ました。」との感想が聞かれました。その後、生徒さんは利用者の皆さんへ積極的に声を掛けて回り、大変喜ばれておりました。

午後は、デイケア利用の皆さんと一緒にレクリエーション(ゲーム)を行いました。はじめはなかなかゲームのコツが掴めず、利用者の皆さんからいろいろアドバイスを受けながらゲームをしていましたが、やがてコツを掴むと「やっぱり若い人は違うな～」と利用者の皆さんも感心するなど、終始和やかな雰囲気でした。終わってから生徒さんに感想を聞いてみたところ「イメージしていたことと違って福祉の大切さを感じました。」「自分も福祉の道へ進み介護福祉士を目指したいです。」との意見が聞かれました。

今回の体験で、1人でも多くの生徒さんが福祉への関心を持っていただければ幸いです。そして、いつか一緒に仕事ができればとても嬉しいと思っています。

主任介護福祉士 佐藤 薫



身近な棒を使って認知予防ゲーム



言葉をつなぐ記憶力ゲーム

看護体験

ステキな看護師さんにな
れるよう応援しています!!



平成27年7月13日(月)・14日(火)2日間、二本松第三中学校2年生5名が、職場体験に訪れました。体験内容は、施設見学(病院、附属老健、訪問看護ステーション等)のほか、看護体験として患者さんの手浴体験、ベッドメイキング、車イス、ストレッチャー操作やベッド臥床など看護側と患者側の立場で交互に体験をしてもらいました。

手浴後、患者さんから「ありがとう」と感謝されると少し照れた笑顔で喜んでいました。その気持ちを忘れないでほしいです。私たちも中学2年生という若いパワーのある人達と接し、

看護に興味を持っていただいたことを嬉しく思いました。また、附属介護老人保健施設の利用者さんとのコミュニケーションも体験したいとの希望から、利用者さんと一緒にゲームをしてみなさんに素敵な笑顔を見せていました。核家族が多い家族環境の生徒たちでしたが、高齢者と接することが好きでこの職場での体験を希望したと聞き、私たちの未来の後輩が出来ればと期待しているところです。

二本松病院 臨床指導者会
渡辺春江、畑中恵子、本多順子

血圧、
測りますね～



ありがとう



利用者さんとのゲーム



手浴のひとコマ



#こたけの未来

糖尿病看護認定看護師の資格を取得して

私がこの資格を取得したきっかけは、自分の力不足を強く感じたことでした。糖尿病の患者さんの血糖値が良くなるようにと思い指導させて頂くのですが、実際の検査の数値は変わらなかったり、入退院を繰り返されたりという患者さんを幾度も見てきました。その度に自分が患者さんのお役に立てていないことが情けなく、どうしたら患者さんにとっていい結果が出る関わりが出来るのだろう、それが出来るようになるにはもっと糖尿病について勉強しなければならないのではないかと考え、認定看護師教育機関(課程)を受験しました。

糖尿病看護認定看護師の知識・技術としましては、血糖パターンマネジメント、フットケア等の疾病管理および療養生活支援が挙げられます。血糖パターンマネジメントとは患者さんの血糖自己測定値の記録を見て、その傾向に基づいて食事や運動・治療などの情報を総合的に分析して血糖管理を行なうことをいいます。糖尿病看護におけるフットケアとは一般的なフットケアとは一線を画すものであり、糖尿病看護におけるフットケアの究極の目的は「足病変の発生を予防すること」¹⁾にあります。足の潰瘍や切断により患者さんの生活の質が下がらないように支援させて頂きたいと考えています。

これからも学んだ知識・技術を最大限に活用し、地域の皆様の健康増進に寄与して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

外来副看護師長 黒沢 チエ



糖尿病看護認定看護師認定証書



研修中の仲間と一緒に



修了証を手にしました。

引用文献

1) 日本糖尿病教育・看護学会編、糖尿病看護フットケア技術 第3版、日本看護協会出版会、2013.P3

栄養管理室 からの お知らせ



1階売店隣の展示コーナーに、入院患者さんに提供しているメニューの写真・アンケート結果を掲示しています。また、「試してレシピ」も用意していますので、ご自由に持ち帰って自宅で試してみたいはかがですか。



編集 後記

今年の夏は、冷夏の予報を耳にしていましたが、あくまでも予報なのか? 異常気象なのか? 台風が早い時期からの発生、猛暑日が続いて熱中症のニュースを毎日のように聞いて、少しうんざりでしたね。これからの時期は、残暑が厳しいという言葉を受けないことを願っています。 H・M記